

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。  
お問い合わせは 75-1772.

記号の説明:  
①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照  
②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

**茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」**  
(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

昆虫もたくさん載っています

**茅野市 市民の森ガイドブック2「森を楽しむ」**は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。  
《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館 売店  
茅野市北山 カフェ 午後の森  
《問合せ》 NPO 法人 八ヶ岳森林文化の会  
☎: 0266- 75-1772

**今年初の横河口から** (悦)  
今年は参加人数が多く、横河口駐車場では足りないため、横河口を利用避けていましたが、複数の方に相乗りをお願いし、台数を減らして実行しました。コースは、横河口→せせらぎコース→南コース→池→東コース→横河口で、今年初めてのせせらぎコースでは、山の神の市民の森一番のサワラの大木を、隣の尾根ではエゾエノキの大株立ち、クヌギ、ナラガシワを観察しました。クヌギの周辺で下見の時に観察したミヤマクワガタを探しましたが、見つかることができなかったのが残念でした。さほど暑くもなく、雨にも当たらず、快適な観察ができました。



木バナアキギリ

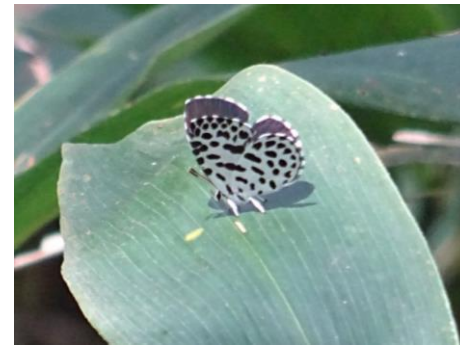


ナンテンハギ

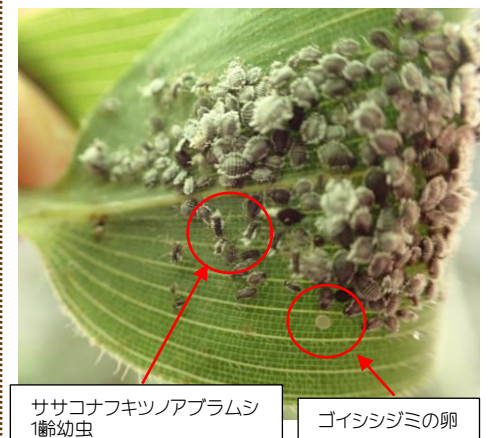
**ドングリ色々** (悦)  
↑上から  
・ナラガシワの葉  
・クヌギのドングリ  
・ナラガシワのドングリ  
↓コナラのドングリ

**チョッキリの揺籃** (悦)  
道の上にドングリがついたコナラの小枝が目立ちます。オトシブミ、チョッキリは揺籃を作るので知られていますが、チョッキリの中には、葉を巻かないで実に卵を産んで枝ごと切り落とすものもいます。文一総合出版の「オトシブミハンドブック」によると、ブナ科のドングリに卵を産んで切り落とす種にハイイロチョッキリの名が挙がっています。  
＜卵のその後は＞  
チョッキリの仲間がドングリ内で成熟した幼虫は揺籃から脱出して、土中で蛹化するそうです。

**食物連鎖** (悦)  
笹藪で白に黒の点模様の蝶が飛び交います。黒の点を基石に見立ててゴイシジミと名付けられたシジミチョウです。どうしてゴイシジミは笹藪を飛ぶのでしょうか？理由は次段の(矢)さんのコメントで。森の中の生物は食物連鎖で繋がっていきます。笹藪には笹の汁液(師管液)を吸うアブラムシ、そのアブラムシを食するゴイシジミの幼虫がいて、そのため、笹藪をゴイシジミの成虫が飛ぶ、ということになります。森の中の植生が多様であれば、生物も多様になるとということです。



**ゴイシジミはアブラムシの天敵** (矢)  
★ササコナフキツノアブラムシ  
ゴイシジミの幼虫は肉食で、ササコナフキツノアブラムシを捕食します。なので、親蝶はササの裏のアブラムシの群れ中に卵を産み付けます。アブラムシも只食われるだけではなく、天敵対応の進化をしました。それが所謂「兵隊アブラムシ」と言われる特殊な体形をした1齢幼虫です。この子はゴイシジミ幼虫の成長を妨げるとともに自らの命も終わるとか。



ササコナフキツノアブラムシ 1齢幼虫      ゴイシジミの卵

- 9月観察した花** (悦)
- ✿ ミソソバ①104
  - ✿ ヌスビトハギ①107
  - ✿ クズ②90
  - ✿ ミズヒキ①103
  - ✿ ヤマハギ②95
  - ✿ ツクサ①97
  - ✿ ダイコンソウ①86
  - ✿ キツネノボタン①87
  - ✿ キンミズヒキ①101
  - ✿ クサギ①100
  - ✿ アケボノソウ①111
  - ✿ ゲンノショウコ①100
- 8月観察した果実**
- ✿ ツノハシバミ①67
  - ✿ オニルリソウ①91
  - ✿ アブラチャン①66
  - ✿ ウリハダカエデ①68
  - ✿ カラコギカエデ①132
  - ✿ ガズミ①83
  - ✿ ウツギ①88

- 9月観察したムシ達** (馬)
- ＜蝶＞
- オナガアゲハ②109
  - キタキチョウ②110
  - コミスジ②115
  - ルリタテハ②112
  - ウラギンヒョウモン♀②114
  - ミドリヒョウモン♀②113
  - クロヒカゲ②116
  - ヒメウラナミジャノメ②115
  - ゴイシジミ②114
- ＜トンボ＞
- オオルリボシヤンマ
  - タカネトンボ
  - ノシメトンボ♂
- ＜セミ＞
- 鳴声:ミンミンゼミ
- ＜甲虫＞
- センチコガネ②122
- ＜その他の昆虫＞
- スズメバチ類の巣
  - キボシアシナガバチの巣
  - ハナアブの仲間
  - ゲンゴロウの仲間
  - ミズカマキリの仲間

**今頃、ギンリョウソウ？** (悦)



9月に現れるギンリョウソウそっくりの植物は、ギンリョウソウモドキ！！  
＜ギンリョウソウ＞  
発生:5月～8月、  
果実:液果(多肉化した果皮が成熟後も水分を多くもっているトマトやモモなど)  
＜ギンリョウソウモドキ＞  
発生:8月～9月  
果実:蒴果(果皮が乾燥して基部から上に向かって裂けるアサガオ、ホウセンカなど)

**クヌギは昆虫に大人気！** (悦)



クヌギには、多くの昆虫が樹液を求めて集まります。下見ではミヤマクワガタが登場しましたが、本番には現れてくれませんでした。

**森の掃除や**



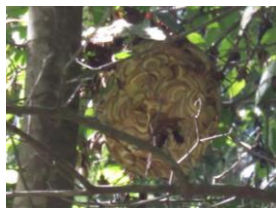
枯れ木を覆うキノコ (悦)



生きた小枝までも飲み込むキノコ (口)

色々 (黒)

●なかなか暑い夏が終わりそうにない一日。涼しげなヘビイチゴの葉に少しばかりほっとさせられました。葉の中にたまりすぎた水分があふれ出る溢水。水玉が冷たい空気を持ってきてくれそう。  
●この時期、スズメバチは危険。見た目には美しい巣を作っている現場を目撃。刺激しないように気を付けましょう！



●アケボノソウの花びらにある蜜腺に蟻が来ていました。蟻は花粉を運べるのか？



●ネナシカヅラを始めて見ました。不思議な植物。普通の植物の生き方を放棄、ひたすら他人(他植?)の作ったものを頂いて生きていく。葉緑素を全く持たない、これでも植物？と言いたくなる。



驚き、発見の出会い (山)

●今回は笹の群生しているところがありました。少し歩きにくかったけれども笹にも花が咲くことにびっくりでした。「縮み笹」といいかわいい小さな花が咲いていました。ですが、チヂミザサは低山の山道沿いの林縁などに生えるイネ科の植物らしいです。



●それから、こぶしの実にも初めて会いました。真白な花なのに赤い実。細い糸みたいなものが伸びて地面に落ちて次の世代にいくのでしょうか。



●葉っぱの溢水現象。キラキラとしてとてもきれいでした。吸水した水が葉の先端やギザギザの部分にある水孔から排出されたものようです。今回の森の中にはたくさんの驚き、発見の出会いでした。



芸術の秋！ (新)

●葉が影絵を見せてくれていました。ちょっと嬉しそうにはにかんだお顔が見えました。



●きのこの色・形・艶・たくましさ、美しい！



神秘の世界 (直)

大きな木々の下には小さなきのこが。しゃがんで味わえる神秘の世界です。



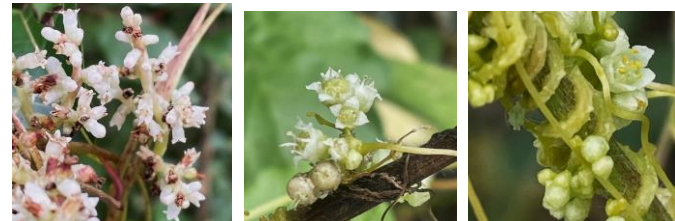
何してるの？ (口)



ノシメトンボ♂  
ピント伸びた尾で雌にアピールしているのかな。

御本家初観察 (ワ)

ネナシカヅラを初めて見ました。これまでに、アメリカネナシカヅラを見たことはありますが、御本家のネナシカヅラの実物を見ることができるとは、思ってもいませんでした。参考に、当日撮影した、ネナシカヅラと以前見ていたアメリカネナシカヅラの画像を添付します。



ネナシカヅラ アメリカネナシカヅラ① アメリカネナシカヅラ②

アメリカネナシカヅラは、中華のかた焼きそばをぶちまけた感じで、ネナシカヅラと見間違ふことはほとんど無いと思います。添付写真②がその雰囲気を出しています。

強いて、比較すると

種名	ツル	花	花柱
ネナシカヅラ	赤紫色	白色 筒状	1本
アメリカネナシカヅラ	黄金色	白色	2本

アメリカネナシカヅラの花の径:1mm程度と微細なので、花柱の本数を見るのは裸眼では困難です。十分に栄養を吸収し、成長して初めて花を咲かせて、種子繁殖をするそうで、ツルが繁茂しているのは、見ますが、花を咲かせているのをみるのは、あまり多くないと思います。もしくは、小さすぎて、気が付かない。

引っ付き虫だし (桂)



ピン洗いのブラシのようなチカラシバ、引っ付き虫だし、あまりいい印象はなかったけど、(悦)さんが「写真でアップで撮ると綺麗よ。」と教えてくれたので、試しに撮ってみました。う〜ん、でも別に普通だ。念のため、ネットで検索してみると、驚いたことに種が売られている！グランドカバーに最適だって！ちょっと信じがたいけど、感性ってそれぞれなのですね。同じ様に、チヂミザサも以前は嫌っていましたが、真冬にカシラダカが庭のチヂミザサの種を食べに毎日来るので、今年もその分は残しておきます。



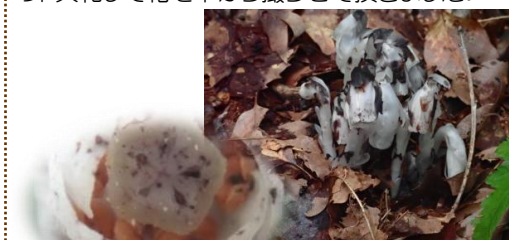
オオルリボシヤンマ♂ タカネトンボ♂ ウラギンヒョウモン♀

色々 (口)

●「イター！」 ススキの葉に触れた時ジョリジョリって感じで指を切りました。葉を拡大するとチェーンソーの歯のようにトゲが規則正しく並んでいます。



●ギンリョウソウモドキ 一株のギンリョウソウモドキに出会いました。チョット失礼して花を下から撮らせて頂きました。



●にらめっこ

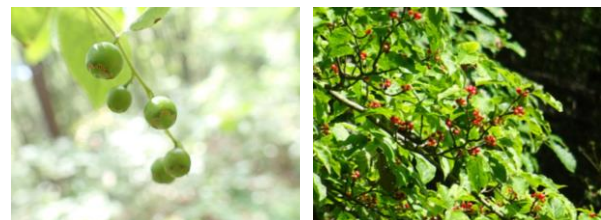
カエルとトカゲが枝の上でどちらかが捕食者なのか、カエルは動く気配がなくトカゲは時々首を動かしていました。この後どうなったかな。



アケボノソウとアリ (矢)

花弁の模様が夜明けの星空に見立てての名だとか。なる程美しい！ 残月のような黄緑色の蜜腺にアリさんが蜜を求めてやってきました。

アリさんはお礼に花粉を運んであげるそうです。ウインウインの関係か。



ナツハゼ アオハタ